



泉小だより

令和6年5月17日

No. 3

佐久市立泉小学校

合言葉 「対話 ～自分のことを自分の言葉で～」

文責：校長

小学校をつくる ～グランドデザインとともに～

4月のスタートから1月半がたとうとしています。お子さんの様子はいかがでしょう。私が校長として見てきた中で、いくつものすばらしい姿を見つけることができました。

①活動が大好きな子どもたち

校庭・体育館・教室等々、元気な声が聞こえてきます。私も「校長先生、一緒にやろう」と声をかけてもらいながら、ドッジボールやサッカー、お絵かきなどに混ぜてもらいました。また、遠足はもちろん、授業での地域巡りや庭での遊びや学習、最近では運動会の準備に取り組む姿が見られます。自分たちが主体となる活動に、元気いっぱい取り組める子どもたちです。



②気づける子どもたち



ホームページでもいくつか姿を載せましたが、下駄箱の様子に気づいて自分から直してくれる高学年（最近、低学年でもそんな姿を見ることができました）のみんな。先生や友だちの様子を見ながら、「大丈夫？」「元気？」「（校長先生）今日は出張？」と声をかけ合う子どもたち。授業中に気づいたことを元気に発言する姿。周りに意識を向けて、気を遣う様子をたくさん見つけることができました。

③素直に感動できる子どもたち

ICTの学習をしているときに「インターネットってそうなるんだ」と本当に納得したように話してくれた高学年の子ども。「すげー」と言いながら飛んでいるバルーンをずっと見ている低学年の子ども。友だちがすごいシュートをしたときに「カッケー」と声をかけたり、肩を組んで抱き合ったりする姿もありました。生き物の様子を見ながら、色々なことを教えてくれる友だちもいます。





そんな、泉の子どもたちに、今年つけてほしいと思うのが「自分のことを 自分の言葉で」表現する力です。前回の学校だよりでお伝えしたように、始業式で子どもたちに話をしました。どうして「自分のことを」話してほしいのか。それは、子どもたちに「自分の価値に気づいてほしい」からです

4月のPTA総会の折、私はあいさつで次の話をさせていただきました。

みなさんは自分のお子さんにどんな小学生になってほしいと思っていますか。よく出るのは「人に迷惑をかけない」「友だちを傷つけない」「悪口をいわない」といったところでしょうか。ただ、「～ない」は、禁止・否定であって、子どもへの願いではありませんね。私からみなさんへのお願いです。ぜひ、「人を喜ばせる」「友だちを助ける」といった「願い」を子どもたちに繰り返し伝えてあげてください。

してはいけないことや、人のよくないことだけを大人の言葉として伝え続けると、大きく2つの弊害が出ると言われていています。1つは、「自分で夢が語れなくなる」、もう1つは「他人を責めるようになる」。子どもたちには、「自分のことばで 自分の夢を語れるようになってほしい」と私は願っています。そして、その思いを皆様と共有して、一緒に子どもたちを育てていければ嬉しいです。

私がここまで子どもたちを見ていて気になったのは、自分を褒める言葉の少なさです。自分がやったこと、がんばったこと、それを「自分の言葉」で発信できるようになってほしい。それが今年のグランドデザインに込めた1番のねがいです。

そのためにも、みなさんにご協力いただきたいことが一つあります。それは、子どもたちに「ほめ言葉のシャワー」をかけて下さい。すでにやっていたご家庭も多いですが、学校・家庭・地域、みんなでシャワーをかけてあげることで、子どもたちの言葉が増え、子どもたちの表現が増えていきます。芽が出るまでには時間がかかるかもしれませんが、でも、1年後・2年後に大きな花が咲くことを信じています。

困ったときも、困っていないときも、ぜひ、校長室や職員室へお越しく下さい。校長も職員も積極的にみなさんに声をかけさせていただきます。一緒に子どもたちの話ができればうれしいです。

令和6年度 泉小学校グラントデザイン ～ みんなでつくろう 楽しい泉小 ～

佐久市教育大綱

自ら考え、夢と志をもって
ともに未来を拓く子ども



泉小学校教育目標

清く 正しく たくましく

児童会スローガン

楽しく…差別なく来るのが嬉しい
仲のいい…学年関係なく
きらきら光る…個性を出しあって
泉っ子

いずみっ子たちの ねがい

学校で楽しく学びたい

やりたいことを 友だちとともに
主体的に学ぶ 協働的に学ぶ



2050年に必要な資質・能力

- 予測困難な課題に迅速に対応する力
- 他者と協働して課題解決に向かう力
- 学びを更新し続ける力
- 多様性を認め合い、個性や社会のウェルビーイングを造営する力

探究する学びのサイクル

→みつける → 取り組む (対話する) → やり抜く



令和6年度 台言葉 対話 自分の 自分の 言葉で	重点 点1 対話	重点 点2 対話	重点 点3 対話	【全校】 ○レインボーフォークキングによるよい歩き方・姿勢 ○全校運動(週1) ○保健指導 ○1人1コマ・保健学習 ○自分のことを自分の言葉 で伝える機会をつくる	1 子どもたちの 育ちの姿から
自分 重点 点1 対話	○工夫な体 と心 ○言葉力向上 ○対話力	○たくさん外遊び ○仲間と単語で遊ぶ ○言葉の意味調べ ○質問コーナー	○「聞く」からみつける ○みつけて動画や写真に	○「おもしろい」高め合う ○「スライド」で相手意識	自己 有用 性 仲間 と協 働 力 授業 評 価
仲間 重点 点2 対話	○考えの共有 ○課題の共有	○「聞かぬ」の声 ○「いいね」の声	○友だちの考えを聴き、 自分の考えをよりよくなる	○「思いを」つなげて、 郡げて、学校から地域へ	3項目の A評価を 別、業 績 60%以上 保護者 40%以上 にする
学び 重点 点3 対話	○わかる授業 ○ICT活用力 ○英タイム ○生活・総合	○算数の力の向上 ○動物との関わり ○夢中になって○○博士	○友の考えを知ることが できる授業(電子黒板) ○地域を知り地域から学ぶ ○人となつたがる	○実体験を通じた学び ○意見交換の場を設定 ○思いをつなげて、 郡げて、学校から地域へ	授業 理解



・未知ができる安心・安全な居場所づくり
・子ども一人一人が活躍を夢見てできる場所づくり
・「思い」から始まるわかる授業づくり

・お子さんのよいところをみつけ、励ます
・家庭での「読み聞かせ」や「親子での対話」を
して、自分の考えを語れる子に

・コミュニケーションをベースとして地域の
ひと、もの、ことと「対話する」伝統的な活動
・ポランティアとして子どもたちとたくさん対話
をして関わっていただく

～運動会について～

来週末には運動会が予定されています。

今年の運動会は、「子どもの思いを大切にしながら、成し遂げる喜びや楽しさの体験」を体感することを目的として、プログラムを構成しました。児童会の頑張りや、開閉開式の工夫など、随処に新しい取り組みが入れています。



そもそも、どうしてこんなに準備をして、エネルギーを遣って運動会を行うのでしょうか。それは、日常の授業だけではなしえない子どもたちの育ちが期待できるからだと思います。「仕上げた物をただ発表する」のではなく、応援してくださるみなさんの力を借りながら、課題を追究していくのが運動会です。

ですから、応援の皆さんにも、そんな目で子どもたちを見ていただくと、とても嬉しいです。「練習通りできたかな？」ではなく「お、あんなこともできたね」、「かけっこで1番になったかな？」ではなく「自分で決めた課題を達成できたかな？」等々。

大切なのは、運動会が終わった後です。学校でも、振り返りを大切に行っていくますが、ぜひご家庭でも、子どもたちの育ちを褒めてあげてください。それが、今後の学校生活につながっていきます。よろしくお願いします。



お知らせ 5月下旬～6月の行事計画についてお知らせします

- | | |
|----------|---|
| 5月25日(土) | 第57回運動会 |
| 27日(月) | 振り替え休業(お休みです) |
| 29日(水) | 血液検査(4・6年) |
| 30日(木) | 内科検査(2・4年) |
| 31日(金) | 4年社会見学下見(4年のみ4時間授業 13:00下校) |
| 6月3日(月) | 内科検診(1・6年) |
| 5日(水) | 体力テスト |
| 6日(木) | 内科検診(3・5年) |
| 7日(金) | 耳鼻科検診 職員研修(全校5時間授業 15:00下校) |
| 12日(水) | 情報モラル学習 2・3校時 |
| 17日(月) | 歯科検診 |
| 18日(火) | 4年社会見学 |
| 20日(木) | プール開き |
| 22日(土) | 地域家族参観日・学校運営委員会・CS地域連携フォーラム
引き渡し下校訓練 |
| 24日(月) | 振り替え休業日 |
| 25日(火) | クラブ |
| 27日(木) | 交通安全教室・PTA運営委員会 |
- ※各行事とも、状況に応じて変更になる場合があります。

保護者の皆様も参加可能です。
具体的には学年だよりでお知らせします。

